

補足 1

自分プレゼンテーション概要

- 実施の目的

自分のことを人に伝え、自己を開示し合い、他者の多面性を知る。友人の開示に対してフィードバックをすることで、自分が他者のどのような部分を見て、何を見ていないのかを自覚する。

また、開示に対するフィードバックを受け取ることで、自分が受け入れられる経験をする。

「隣に座っている友達のこって意外と知らない。

『知らないままである』ことが偏見や差別につながる可能性がある。
だからこそ、他者について知ることが重要だ。

そして、他者について知るためにまず自分を知ってみよう。

自分を知るからこそ他者を知ることができる。

そして、今回のプレゼンを通してクラスの皆のことも知ってみよう。」

- 生徒の目標

自分の心をいつもより少しだけ開く経験をする。実は級友の知らない部分があることを自覚し、知り、受け入れる。

- 方法

テーマを1つ選んで、プレゼンテーションをする。プレゼンテーションの方法は自由。写真、演奏、演技、スポーツの技、スピーチ、作文、動画など手段を問わない。

どのテーマを選んでも良いが、ただそのテーマについて説明するのではなく、「なぜ」

「どのような経緯で」

「その経緯の中で思ったこと」

「そのテーマは自分にとって何か」

など、自分の頭の中を表現しようとしてみる。

テーマ：自分の強さや弱さ、得意なこと苦手なこと、好きなこと嫌いなこと、自分が大切にしたいこと、実は私～なんです。、今までワクワクした瞬間

クラスの前で話すことに負担を感じる場合は、文章や写真を先生に提出するなど、柔軟に対応する。あくまでも、自分について考え少しでも心を開くこと、クラスメイトの話を聞いて、今まで知らなかったことを知ることが大事。

- フィードバック

発表者にはクラスメイトから発表に対するフィードバックをもらう。質問項目 1 の部分は、発表者にまとめて渡すようにする。

資料 1

① バイオグラフィ

生まれた時から今までのバイオグラフィを書いてみよう。楽しかった時期、辛かった時期、両方を行き来した時期、それぞれの時期にどんなことがあったか、書ける範囲でトライしてみよう。



② 私らしさが表れているエピソード

人生や日々の生活を振り返って、「私らしさ」が表れているエピソードを書いてみよう。「私らしさ」が表れていればどんな些細なことでも構いません。嫌いなことや苦手なことも含めて、「私らしい」エピソードをできる範囲で思い出してみよう。

※思い悩んだら、家族や友人など、他の人にも聞いてみてください。意外な一面が見つかるかもしれません。

③私らしさが表れていると思う写真

私らしさが表れていると思う写真を最大 3 枚用意してください。

それぞれに一言説明書きと選んだ理由を加えてください。

④今のあなた

下の文を埋めてみましょう。いろんなパターンを考えてみてください。

1.私は～が好きだ。

なぜなら…

2.私は～が嫌いだ。

なぜなら…

3.私は～を大切にしたい。

なぜなら…

⑤今→未来のあなた

理由はなくても、なんとなく好きな事、面白いと思う事、ワクワクする事を考えてみてください。今から始まる可能性が見つかるかもしれません。

1.私は～にワクワクする。

2.私は～が好きだ。

資料2:フィードバックシート

1.発表者へのメッセージを書いてください。

--

2.発表者に対して、イメージが変わったところがありますか。何を聞いて、どのように変わりましたか・

--

3.発表者と自分とを比べた時に、共通していると思ったこと、違うと思ったことをそれぞれ教えてください。

--